

木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会
第7回 協議会 議事概要

開催日時：令和3年1月12日(火)10:00~11:00

開催場所：Web会議

【出席者】

＜木津川上流部大規模・土砂災害に関する減災協議会 構成員＞

津市 津市長（代理出席：防災室長）
名張市 名張市長
伊賀市 伊賀市長
笠置町 笠置町長
南山城村 南山城村長
曾爾村 曾爾村長（代理出席：総務課長）
御杖村 御杖村長（代理出席：副村長）
三重県 水災害対策監
伊賀建設事務所長
伊賀地域防災総合事務所長
津建設事務所長
津地域防災総合事務所長
京都府 建設交通部理事
山城南土木事務所長
奈良県 県土マネジメント部 河川整備課長（代理出席：河川整備課 主幹）
宇陀土木事務所長
木津川ダム総合管理所長
津地方気象台長
奈良地方気象台長
木津川上流河川事務所長
紀伊山系砂防事務所長（代理出席：調査課 計画係長）
淀川ダム統合管理事務所長

＜オブザーバー＞

東海農政局 農村振興部 設計課 水利計画官
近畿農政局 淀川水系土地改良調査管理事務所長
近畿地方整備局 建政部 都市整備課 課長補佐

1. 開会

- ・伊賀市長より挨拶
 - 皆様の関心のあるコロナウイルスについて、要請段階であるが京都大阪兵庫に緊急事態宣言が発出するという状況下において、書面の開催に続いて本日は Web 会議である。
 - 木津川上流大規模水害・土砂災害に関する減災協議会の 10 月の協議会では流域治水への展開、ハード、ソフトを推進することを確認した。防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策が閣議決定され、人命財産の被害を最小化とするため流域治水を推進していく。今日は流域治水の項目を決めるキックオフ会議となる。

2. 議事

(1) 流域治水に関する説明

- ・事務局より、流域治水の説明、流域治水をとりまく状況、当面のスケジュールについて説明を行った。
- ・各説明内容について、各構成機関から質問や意見はなかった。

(2) 意見交換ででた主な意見

- 5 か年計画については大いに期待している。
- 地元要望のある浸水域の整備をお願いしたい。
- 名張川と宇陀川の資材を置く防災拠点が必要であり、スペースを設けて頂きたい。
- 砂防事業も進めて頂いており、大変ありがたい。
- 重層型の安全・安心とあるが、台風 12 号の時には、流木が詰まってダムができ被害が発生した。間伐された木材を運び出す補助金ありがたい。
- タイムラインについては、台風の場合は余裕を持って出来るが、線状降水帯の場合は早い情報が取れるように気象庁も含めて連携をお願いしたい。
- 農政局には、現在ため池の調査を進めているが、甚大な被害防止のため、引き続き対策をお願いしたい。
- 木津川流域に繁殖している樹木の除去を要望する。伐採して頂いているがまた伸びている。倒木による天然ダムによって S61 年災害発生の事例があるので、治山の事業として協力してもらいたい。
- 住居がハザード内にあるので、流域治水は重要と考えている。
- 防災計画は重要で、流域治水により進めていくものと考えている。
- 国土強靱化はありがたい。樹木伐採については感謝している。
- 平時は、ソフト事業として周知や訓練を実施している。
- 流域対策として、森林整備・保全に取り組んでいる。
- 最近の気候変動により激甚化する災害については、地球温暖化が原因で、低炭素社会の構築に向けて取り組んでいく。
- 流木対策として、間伐材の搬出について引き続き取り組んでいく。

- 堰堤が 28 基あり、整備から 50 年以上経つものが半分程度あり、長寿命化も含めて対策をお願いしたい。
- 伊勢湾台風以降も災害があり、流路工の整備後 60 年が経っているので洗堀等で傷んでいる。こうした箇所がかなりあるので長寿命化を進めるような計画があればありがたい。その際、資源（ストック）を有効に使っていきたい。
- 河川整備計画の早期完成をお願いしたい。河川整備計画が作成されて 10 年、この見直しも必要ではないか。
- 流域の連携が大事になってきた。河川は運命共同体であり、上下流連携が重要になっている。
- 山林の整備に関連し、広域の連携組織をつくったので役立てて頂きたい。

以 上